（大正十二年十一月八日第三種郵便物認可）　昭和十五年七月二十日　常磐毎日新聞　［土曜日］　第四千八百四十二號　【一】

常磐毎日新聞

日刊

七月十九[illegible]

定價 一箇月[illegible]

日曜祝祭日の翌日休刊

發行兼編輯人印刷人 坂本忠治

發行所 常磐毎日新聞社 電話 六三〇番

印刷所 常磐毎日印刷株式會社

（振替口座）東京 四〇二一〇番

小兒科內科
酒井醫院
◎入院隨意（電話五五）
醫學博士酒井保
平市字南町

强固な防空陣營
平市は縣下一
縣統監部の折紙付く
▽……殊に規律訓練が優秀

既報十八日からの第三期訓練に入るや次々と空襲警報が發令され夜の九時十分を最後に四度び敵機に襲はれた平地方は今十九日に入るやいよ／＼最終日とあつて午前四時を期し先づ第一回目の空襲警報が發令せられ各所に曉の戰鬪が開始された、續いて午前九時三十五分には第二回目の空襲警報が發令され間もなく現はれた敵機は至るところ燒夷彈から瓦斯彈、爆彈と雨降る如く投下あはや平市も烏有に歸せんとしたが昨日來の戰鬪で張切つてゐる警防團並に家庭防空群の活動は實に目覺しく一時間餘で敵機を擊退こゝに平市防空陣の威容を完全に發揮、統監部でもその活動は實戰さながらにして規律訓練の優秀なこと他に類なく縣下一の折紙をつけ甲の上々だとの講評を下し激賞してゐる、尙湯通り植田、四倉、富岡の各署管內は甲ノ上となつて四倉の進境著しく中村署管內は乙に轉落した

銃後認識の自肅が未だ足りないか？
驚くべし半年の遊興稅
實に十二萬三百數十圓

戰時下における國民生活に指針を與へ生活の步調を確固たらしめる大役を擔任する精動本部は蹶起となつて銃後認識の自肅を促して居るのだが自覺なき大衆に押切られ、昭和十五年一月から六月まで遊興飲食に拂はれた副產物的な稅金は平稅務所で見ると十二萬三百八十九圓——これが稅金線に浮び上つた數なのだ、娛樂の入場稅は一月から六月までゞ一萬百九十一圓——決して國民の健全な生活を示してゐるものではない、心ある人々の間に自肅要望の聲が熾烈に昂まりつゝあるも故なきではない、この聲を活用すべく平市の精動運動本部である振興委員は更に生活自肅强化運動に百尺竿頭數步を進めることになつてゐる、今後の遊興飲食稅、娛樂稅は果して如何なる變貌を來すであらうか？

防空群の二婦人
血塗れの大奮鬪
責任感の强烈さに
係員も舌を卷く……

平市大町家庭防空群第五組二十群員馬目ヨシ（四二）さん同大塚モト（四〇）さんの兩名は十八日午後四時二十分發令され第三回目の空襲警報に際し同町芳本旅館大火想定の下に行はれた防空演習に出動活躍中折重なつて轉倒し馬目さんはバケツで顏面と胸部に全治三週間、大塚さんは同十日の裂傷を負へ乍ら血まみれとなつて最後までがんばりその責任感の强いのに係員を感激せしめたが渡部平署長からも其の奮鬪振りは他の群員の模範だと賞讃されてゐる

因に馬目ヨシさんは故人の馬目雅治市議の未亡人、今は市の公益質屋に勤務して居る

小荷物注意
夏の繁忙期に

夏季繁忙期に際し平驛では小荷物託送の場合の左記注意事項を一般に留意されるよう要望してゐる

△荷造の嚴重△鞄、トランク、蒲團袋は必ず繩かけのこと△託送は午前中に出來るだけ配達扱にすること△學校工場等休暇出荷多忙の場合は最寄驛と連絡し自ら輸送の緩和に努力されたい

大野村指定

大野　大野村はこの程農林省から十五年度經濟特別助成村に指定された

職業能力
補充の申告

平署ではこの程管下各醫師會、齒科醫師會、藥劑師會、產婆會等宛醫療關係者職業能力補充申告に關する通牒を發した、これによると昭和十四年八月十五日以降醫師、藥劑師、齒科醫師、看護婦、產婆となつたものはすべて申告の義務があり八月一日現在により就職地所在警察署を經由八月十五日まで縣宛に申告すべしとなつてゐるがこの申告をしなかつたり虛僞の申告をした者は國家總動員法により六ケ月未滿の懲役または五千圓以下の罰金、拘留、科料等に處されることになつてゐるから關係者は注意肝要とのことである

精神道場
渡邊村建設

既報二千六百年記念として精神道場〃興村塾〃を建設することになつた渡邊村ではいよ／＼この程縣から認可があつたので本月末に上棟式を擧げる豫定で目下工事を急いでゐるが建坪數は四十七坪工費四千圓である

汽車旅行
割引制限

暑中休暇による學生の歸省——海へ山への体位向上を目指して殺到する乘客の混雜緩和をはかるため東鐵では八月一日より同十五日まで春と同樣旅行者に對し割引乘車制限を行ふことになつたが平市でもこれに呼應することになりこの程全市民にこれが周知方を各區長宛通牒を發した

商組の會議
新秩序を建設

商組縣支部では商業新秩序の建設を期し二十一日平市公會堂で濱三郡下のブロック會議を開き左記案件を附議する

商業報國運動、砂糖等配給統制地區商業組合機構變革

價格表示
怠れば嚴罰
五種に及ぶ

改正暴利取締令は去る七日から實施されてゐるが未だ趣旨不徹底の嫌ひがあるので平署では今後商品の價格表示を怠つたものに對しては嚴罰主義で取締ることになつた、表示價格には五種あり九。

一八停止令によるものは「〇印に停」公定價格によるものは「〇印に公」商店同士の協定によるものには「〇印に協」當局の許可を得て定めたものには「〇印に許」魚貝類など一般物價統制令以外のものには「〇印に新」のマークを附することになつてゐる

禁酒して
銃後會寄附

渡邊村字出部石川登さんは好きな酒をやめて貯へた金五圓をこの程村銃後會に寄附關係者を感激せしめてゐる

縣下中等校武道
廿三日磐中道場で

縣下男子中等學校休育聯盟主催第十五回縣下中等學校柔道劍道大會は二十三日午前七時から磐中道場で擧行される

健康保險醫

磐崎　磐崎村磐炭長倉診療所醫師福島繁氏はこの程本縣健康保險醫に指定された

半島人が
赤誠獻金

磐崎村磐炭長倉坑半島人坑夫朴一龍こと草野仙一郞、同金併喜こと山城直一の兩君は〃この時局下何等心配なく働いてゐられるのは皇軍將士のお蔭ですほんの僅かですが國防獻金して下さい〃と今十九日平署へ金五圓宛十圓を寄託した

平商の
勤勞奉仕

平商では夏休みを前にけふ十九日五年生が出動勤勞作業として既報の如く松ケ岡公園の池底さらひに着手したが取敢えず水を乾したのみで本格的作業は泥の乾くを待ち夏休に入つてから開始される筈でけふは大鰻や鯉鮒其の他の雜魚が獲れて生徒等は大騷ぎを演じた

小名兒童慰問文

前線勇士を慰ゆるのは私達の手でと小名濱小學校兒童は慰問文を鄉土勇士に送ることゝなり作製してゐたがこの程第一回分を發送した

小名濱支局通信

產土神詣でと
わたまし祝ひ
（五）

支局長　小野務平

翁は部落住民の水害の爲めに疲弊し其生活がドン底に陷つて祖先の墳墓に見限りをつけ轉住せねばならぬ狀勢を示しボツ／＼そんな實行者さへ現はれて來た共時に種々計畫を樹立して愛鄉の觀念を培養しようと勉めた、それには治水築を先解問題として考ふる事も重大ではあるが、共後に來たる恒產造成の重大さをも考へねばならぬと云ふ處大の見地から馬草場として部落共有的に領有して來た山野二十幾町步が明治の晚年に官地として整理さるゝ事となつたのであるが共時に翁は卒先共拂戾運動に一肌ぬぎ之を緣面拂下げに依つて部落有地として初めて昔日の宿緣を現實へ歸納せしむる事が出來た。

其處で翁は更に年々歲々馬草場として之を肥料用に供するだけでは部落共有としての將來に向つての收獲を物質的に之を見る事が出來ぬと云ふ處から共一部殖林に適した地面數町步を割いて殖林事業の斷行をなすべき方針を建てたのである、時正に大正三年の御即位式記念事業として當時靑年團員を督して幾萬本かの松の殖樹をなしたものである。

そして共內之を愛護して窮迫せる部落民の懷中を溫めしめようと百年の大計を建て以て將來の貯蓄精神をも涵養したのであつた、星移り物變つて即二十有五年嘗て植樹の痕ない馬草野原に松苗を移植したのだから耐らない見事成育した松林は鄉土の各所として共事業に美果を結びし事を喜ぶのであつた。

段々成育する殖林は年一年と山林價値が增加し現在では約千圓と云ふまでに價値を認めしむるに至つた一事はこれ一に翁の部落民をして疲弊困憊の苦境から救ひ出たさんとする遠大の計畫に出てたる事は論がないのであるが、然かも此の偉大なる百年の計に對して一部靑年强は之を顧みないで最近徒らに伐採して何の彼のと鐵鉞を容れようとして居るのを見ては翁の憤慨は一入である。

殖林事業に着手した當時の部落は苗木幾萬本に對しても翁自ら私財を投じて之を求め部落民からは當然負擔すべき區費すら滯納勝ちである爲めに一文の交附も貨擔もなかつたのみか、當然負擔すべき區費すら滯納の儘未收入で現在まで當時の帳簿が現存して居ると云つた樣な事情であるから共苦境にあつて此の殖林に依つて將來の基本財產を造成に眼を注いだ点が如何に部落愛の熱誠が迸つて居つたかを知る事が出來るのでないかと思ふのである。（續く）

繭購入の
貸付倉庫に

四倉町石樂乾繭販賣購買利用組合會農業倉庫はこの程十五年繭購入資金貸付倉庫に指定された

小名濱の
點呼豫習

小名濱町　小名濱町鄉軍分會では八月四日から十日間小名濱校で未教育補充兵並に點呼豫習教育を行ふ

性懲りず
又も惡事
橫領元局員

錦町江栗無職星春吉（二七）は十七日午後十時頃吳羽紡績錦工場の鉛工場から鉛七貫餘時價十五圓を盜み出そうとしたところを守衛の古田初治さんに發見され捕へられたが

同人は元植田町郵便局員で今春三月頃簡易保險集金二千三百圓を着服橫領平區裁判所で懲役一年執行猶豫三年の寬大な判決があつたばかりなのに性懲りもなく再び遊興費につまつて惡事を働いたもので餘罪あるらしい

好間强盜
無期懲役

既報　今年四月五日の曉け方好間村大字北好間字權現堂齋藤とり（五四）さん方を襲ひ日本刀で重傷を負はせ逃走中僅か三日間で平署にスピード檢擧された例の强盜殺人未遂並に竊盜犯人栃木縣生れ齒科八犯佐藤健三（四八）の判決公判は十八日平支部で開廷されたが檢事の求刑通り無期懲役を言渡された

銅線三百圓

錦町　江栗古物商朴田一郞（三二）は去月二十九日吳羽紡績工場修理倉庫內から銅線三百圓分を盜取したこと發覺十八日植田署に檢擧された

小名局窓口

小名　小名濱郵便局では窓口の混雜を防ぐため今度新に爲替取扱の窓口を新設することになつた

方面員增す

平市　平市の方面委員定數は今度二十名に改めらる

平市人事

出生

△中鹽字一水口二七小泉文好氏四女京子さん

死亡

△搔捏小路二五目下水戶市南三ノ丸七三賀造氏三男菊池正信（四）君

ラヂオ

今晚の部

▽後六、〇〇　子供の時間　テキスト二九ページ　音樂講座（七）樂譜の讀み方　弘田龍太郞　日本放送合唱團

▽後六、二五　講演「近世日支國交の經緯」文學博士矢野仁一

▽後七、二〇　鄉土に寄する言葉（錄音）歌人巽聖歌

▽後七、三〇　國民歌謠

▽後八、〇〇　ピアノ獨奏　奏鳴曲ニ長調作品一〇第三ベートーヴエン作曲　朝吹文子（解說）園部三郞

▽後八、三〇　音の凉味（錄音）

▽後八、四〇　浪花節「軍國險の母」中田比良夫作　梅原秀夫

明日の部

▽後七、二〇　音樂レコード

▽後九、四五　幼兒の時間　童話「風船玉」松原ユキ子

▽前一〇、〇〇　衞生メモ「賣藥を用ふる時の注意」

▽前一〇、二〇　家庭の時間「夏の姙產婦への注意」醫學博士久慈直太郞

▽後〇、〇五　土曜コンサート一、序曲タンクレディ二、圓舞曲黃金のワルツ三、スペイン夜曲四、行進曲空中戰　響和管絃樂團（指揮）佐藤淸吉

▽後三、〇〇　婦人の時間「夏の身だしなみ」千葉益子

▽後三、三〇　特別講座「傷痍軍人の爲に職場に更生しつゝある傷痍軍人を訪ねて」軍事保護院荻野憲祐

▽後五、三〇　趣味講演「歷史的に見た日本刀とその取扱に就て」長沼一馬

▽後六、〇〇　子供の時間　テキスト三二ページ「なぜなぜ問答」理學博士福井玉夫

▽後六、二五　講演

▽後七、二〇　鄉土に寄する言葉（錄音）聲樂家伊藤久男

▽後七、三〇　國民歌謠

▽後七、四〇　學校と家庭の夕　一、國民學校を訊く二、（錄音）敎室風景三、お話四、歌綸卷「夏の子供」篠原助市、瀨戶アナウンサー、木下一男、東京コドモ唱歌隊

▽後八、四〇　合唱　盛岡混聲合唱團（伴奏）勝野洋一（指揮）新野仁助

▽後九、〇〇　滿洲開發リポート「建設滿洲大連港と水豐ダム建設工事」

▽後九、一〇　常磐津「楠公櫻井の訣別」淨瑠璃常磐津三東勢太夫他

◎開院◎
ほねつぎ專門
一、骨折　一、脫臼
一、打撲　一、捻挫
其他筋骨古疵一般
◇急救の場合は出張の需に應ず
◇入院、自炊の設備あり
◇場所　錦町人絹工場前
講武館接骨院
柔道敎師　鈴木利治
柔道整腹師　大谷拾松

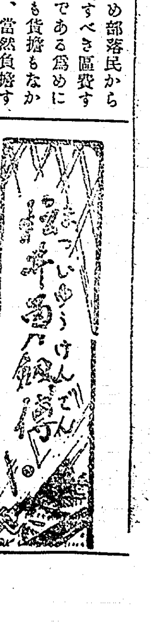
耳鼻咽喉科專門
鈴木醫院
醫學士　鈴木正男
平市田町（藤田女學校前）
電話六一三番

吉例土用うし
牛肉大賣出し
二十一日土用入り丑
滋養豐富な牛肉を是非……
平市田町
石川亭
電話四十三番

◎女車掌（三名至急募集）
1、未經驗者ニ限ル
2、委細面談
3、優遇ス
平市二丁目
三井タクシー
電六八五番

印刷物の
御用命は
常磐毎日へ！
電話六三〇

夏！夏!!!
例年通り冷い美味しい飲物はじめました。皆樣今年も何卒宜しく御願ひ致します
アイスクリーム
あづきアイス
みつ豆
ソーダ水
其他各種
平二丁目[illegible]通り
[illegible]清食堂
電話六三五[illegible]



第百二十九回

言ひ分がある

九郎兵衞顏の色を變へて

「やあ織太。如何に禮儀を知らぬ者とは申せ。無斷で人の座敷へ這入るとは無禮であらう。先代儀右衞門が居なくなつたので此の九郎兵衞を舐めてゐるな」

「いえどう仕まつりまして決して舐めた譯でも、しやぶつた譯でもござえません。少々お聞え申したい事がありまして台所からお取次を願ひましたが誰も居りません。默つてなら咎められても仕方がねえが、一應なり二應なり聲を掛けてゐるんだから[illegible]ねえと[illegible]ひまして此の部屋へ入つて參りました。スルと中でヒソ／＼話し、お聞け申しちやなんねえと控つて居りましたが火の[illegible]のねえ[illegible]で[illegible]。おまけに[illegible]なすつて下つせえ。

この[illegible]生の物まで剝いで[illegible]けてゐる始末。[illegible]せんからお話し申[illegible]でしたが[illegible]を掛けましたので——もし御[illegible]なすつたでござえませう。人の事も知らねえ[illegible]な野郎、[illegible]しのねえアンポンだと[illegible]もござえませうが、まあざつと[illegible]で飛び込みました。どうか[illegible]してお聞んなせえ」

「まあ織太さん。[illegible]したちやないか」

「どうも濟みません」

「これ織太。如何に[illegible]の者が[illegible]なかつたからと云つて默つて他人の座敷へ上り込むと云ふ法はない。何用あつて參つた」

「へえ、多少は〃お聞えがムえまして……」

「何だ。[illegible]があると云ふのは」

「へエ、少々御無心がムえまして……」

「無心と云ふからは小遣ひでも[illegible]れと云ふのか」

「左樣で申し兼ねてムえますが、[illegible]を[illegible]して些つとばかり……丁度四五日前から雨が[illegible]りますので……」

「[illegible]くて着てる物まで剝ぎ取られ到頭[illegible]生の[illegible]まで剝いでしまつた此[illegible]で立派に申して[illegible]よ[illegible]やうな譯。これちやとても仕事に出られません。先代樣から[illegible]を申して濟みませんか、この織太を助けると思召して」

「ならん」

「へエ」

「成らん。手前を[illegible]して[illegible]とられたのはお前の勝手だ。儂等の知つた事ではない。又お前に[illegible]な金子は儂の手許にはない」

「へ、、、旦那樣[illegible]つちやいけません。三千石の大旦那、[illegible]子に[illegible]金子がねえなどと……」

「いやこの家としては有るか知らんが。此の家は[illegible]の家だ。[illegible]うしてゐるもの、儂は[illegible]一文の金子だつて儂の自由にする事は出來ねえ」

「成程そう仰言れはそれまででムえます。併し[illegible]と[illegible]へは此の家の支配人同樣。[illegible]坊ちやまから家の切り盛りは任されてゐるものと云ふものでせう。[illegible]む小使ひぐれえ旦那の[illegible]一つでどうにも成るものぢやありますめえ。何も云はねえで此處は一つ[illegible]さつぱりと織太や[illegible]はならねえぞ。これを持つて行きねえとお出し下せえまし」

「何だと[illegible]が[illegible]んで來たな、きたねえ所を[illegible]れば[illegible]ずが出る……何が出ようと大きなお世話だ。成らんと言つたら成らん。ぐず／＼申さずと早く[illegible]れ。此上とやかく申すに於いては手に[illegible]せんぞ」

「おや手は見せんと仰言いましたね。そう云ふなら手を見せて頂きませう。[illegible]り乍ら[illegible]家の身代が十萬兩としたならば五萬兩は[illegible]はなけりやならねえ。[illegible]は[illegible]があるんでげえす」

「何だと[illegible]家の身代半分[illegible]ふ譯があると、[illegible]そんな[illegible]を問ひに[illegible]家へ[illegible]つたのか」

「そう[illegible]ふ譯ぢやムえやせんが旦那の方が以前の二本差しを[illegible]に[illegible]て[illegible]ふとなさるなら[illegible]つちの方でも些と云ひ分がムえ[illegible]」

「生意氣な奴だ、[illegible]ひ分があれ[illegible]」

高尚な文化の鍵

曙日テル

先頃から連夜放送局からの、歌謡放送について、注文取がアナウンスされたが、注文を出したいのはラヂオにかぎらない。先日、あるレヴューを見てきた人が、あゝいふ風におどつてゐる娘の將來と、その觀覽者の多數が若い學生などであることについて、放送者の意見がきゝたいものでといつてをり、また既に發表した歌人が、女聲と男聲交互で吹込まれたレコードを試聽できいたときは、實に神が恍惚を感じたといつてゐたが、これらはそのストーリーや、主題に問題があるのではなく、その醸しだす性格が問題なのである。この意味からラヂオのせりふなども、子供の時間のそれにまで甚だ芳しからぬものがある。

たとへば、出征の將士へ感謝の言葉がおくられるにしても、どうも、感傷で動いてゐる人間の調子だとは受取りがたい。朗讀人の語りも、文句はよいのだが、その醸しだす空氣の不健康さだといふ。これは要するに、今日までの歌手なり俳優のうける喝采が、額に汗する人々の間からでないことに原因しないかと思ふが、假に、さういふ人々が、高度な内外の音樂や、演劇などに親しむ月や日をもちあはさぬにしても（事實は必ずしもさうでないし、これは藝術―文化一般についてもいへることだと思ふが）ラヂオなどは、もういゝ加減、媚る放送から、醒める放送へ轉向してよい時ではないかと思ふのであるが、その點はらがきまらないでは、いかに注文取に親切であつても仕方ないのではなからうかと思ふ。

數の世界

イタリアの人口は？

四千二百三十萬、ざつと日本の半分です

國策の線にそうて 如何にしたら好配偶？

「優生結婚相談所」に聽く

「産めよ殖せよ」の國策にそうために優良な健康兒を大いに産み育てなければなりません、それにはどうしても結婚適齢期にある青年男女が、各自自覺して出來るだけ完全な配偶者を得るやうにつとめることが何より大切な條件だと思ひます、ではいつたいどうしていゝ配偶者を得るべきでせうか、厚生省では先頃日本橋三越に優生結婚相談所を設けましたが、同所々長醫學博士安井洋氏を訪ねて種々意見を聽いてみました

●結婚について必ず考へねばならぬことは遺傳であります、ところで優生學といふ言葉がわるいせいか、一般にはまだ私達の仕事を十分理解せぬ人の多いのは、誠に困つたものです

要は、私達の仕事は斷種であり惡質な子孫の繁殖防止といふ切な願ひだけです

●統計的にみて一番多いのは血族結婚の弊害で、全體の三分の一となつてゐます、その他は精神病、結核、癩、近眼、性病といつたものですが、まず血族結婚からのべることにします

●血族結婚を止める理由といふのは、三代も四代も前のことを知ることが不可能だからです、つまり劣性遺傳をおそれるためで、劣性遺傳といふのは、潜伏してゐた病状が血族結婚によつて再び現れるからです

●もちろん代々優良な血統をもつた家系ならば血族結婚だからとてわるいよりもむしろいゝのですが、今日の醫學をもつてしては、まだ潜伏をたしかめることができませんので、萬全を期するために血族結婚をやめるわけです

● このことは血族でなくとも同じやうな病氣のある家柄ならば、當然結婚をさけねばなりません、たとへ、どちらの家系にも同じやうな不具者つまり聾の者、精神病者などいふ遺傳的病者がある場合は、結婚してはなりません

●ところが、往々にして引け目を感じるため、同病相あはれむの配偶者をえらび勝ちで、これはよほど注意すべきでせう

●次は、精神病系統の家系ですが、これは本人結婚當時まで（二十四五歳まで）に病状の現れないものは大抵大丈夫です、それには相手方に精神病系統のないものをえらぶべきで、なほ子孫においてもこの方面に注意さへおこたらねばほとんど心配はありません

●結核や癩病、中でも癩病は地方では未だ遺傳病だといふ誤つた考へに強くとらはれて、いく多の悲劇をくり返してゐますが、この病氣はあくまでも傳染病で、その證據にはハワイ、マニラなどの癩療養所に生れた子供を、すぐに兩親から取はなしてそだてた結果、一人も癩患者が出てゐないといふ事實があります

●ですから、問題になるのはその子供が、患者と一緒にどのくらゐ住んでゐたかといふことで、それにより危險率が定まるのです、癩病の問合せは、多く地方から手紙でまいりますが、私は以上の迷信打破に微力ながらも懸命につくしてゐるつもりです

●結核患者の子供にしても大體それと同じことがいへます、結核といへば既にその病氣にかゝつた人がまゝ相談に見えますが、そんな人には、レントゲンの結果によつて結婚の是非をお答へしてゐます、それから多いのは、近眼近視の質問です

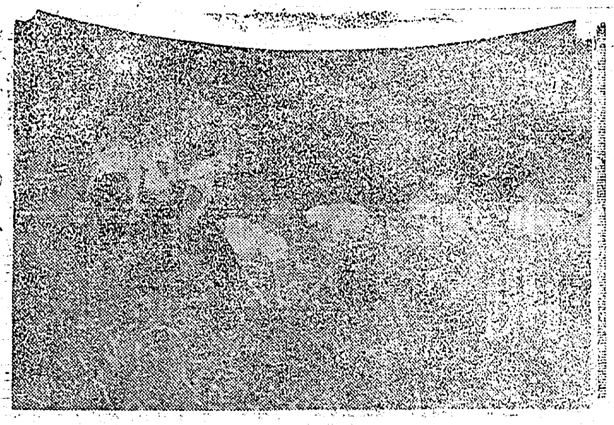
たとへば男は近眼でもいゝが、女が眼鏡をかけてゐると、お嫁にもらひ手が少くなるといふのです、なるほどもつともな話しですが、都會において近眼をそれほどおそれてゐたのでは、まつたく何も手がつけられなくなります

●私が電車の中で何氣なく統計をとつてみたところ、乘客中三十パーセントは眼鏡をかけてゐます、大學、專門學校の統計では六十パーセントが近眼です、これは今日までのところ豫防方法が十分でないからで、豫防方法の研究が進歩すればずつと近視が少くなります

そこで私たちが本當に近眼と名づけるものは、六度以上の眼鏡を用ひる人で、それ以下は近視と何等關係がないといつてゐゝでせう

●ドイツなどは近々數年の間にほとんど近視を征服したといはれてゐる事實をみても、六度以下の近視は全然問題外です、近視にならぬといふ人は、よほど立派に眼球をもつた人でない限り、普通の人は勉強などでいつも無理をするため、ほとんど近視になります

●もし近視だからために結婚を否定しなければならないとしたら、今日の青年男女は、ほとんど結婚できないことになるでせう、だから、六度以下の人ならすこしも心配する必要はありません、その他、性病などの心配は、結婚前に醫師の診斷書を取かはせばまづ安心です、以上簡單にのべましたが、かうした知識は常識とならねばなりません（終）



開拓の人々

天下の名藥

經驗と信用で名高い 日本藥局方適合品△

りん病こしけに [illegible] 淋藥

急性・慢性にもヨク奏効！副作用絶對になし。藥價 三圓・五圓・十圓 五十錢・一圓 急患代引送藥

有名藥劇効

東京麻布十番通 麻布局前 岩里天然堂 （全國藥店にあり）

別府皮膚藥 岩里 溫泉を含む

お髮の汚れ防止

ゼツトローションでかきつけると汚れが少い

風とほこりに惱まされる今ごろは髮のよごれもひどいわけです、大體髮は乾いてゐるとホコリがつきにくいのですが、油けがたりないと毛の質もわるくなり、また風に散つて見苦しいものです、といつてもポマードなどを矢たらにつけるのも埃を誘ふやうなものです

それに最近はこのポマードも拂底です。そこで、風の日のお髮のかきつけにセツトローションをおすゝめします、これを水でごくうすく溶き、櫛の齒につけてお髮をなでつけると、毛並がそろつて光澤がでるばかりでなく、不思議に毛がちらず、よく形を保ちますし、またサラリとしてゐるのでホコリもつきません。

ただローションが濃すぎたり、しつとりとぬらしてしまつたりすると、却て形がくずれ、且つ乾くのに手間取りますから御注意下さい

（那須ます子氏談）

「これからの女性と職業」

我が國今日の非常時に當つて、銃後國民の再考すべき最も重要なる事項の一つに女子教育がある、近頃我が國の女子教育も智育に體育に、その他凡ゆる方面に經綸も次第に整ひ、また婦人の經濟的獨立も漸次向上の一途をたどりつゝあることは最も力強いところである

そこで今、貴女方は現代日本の女性としてそれに適應した職業を求められることが極めて肝要な問題となつて來つゝあるのであります

主婦たる使命を完うしながら而も相當な收入があり前途ある職業と云へばまづ美容師に指を屈しなければならない、美容師こそは職能は云ふまでもなくその前途は洋々たるもので收入も男子以上である。

ところが美容師になるには在來の徒弟法だと五年も六年もかゝる。尤も他に美容美髮學校等もあるがその多くは單なる形式的學校制度の教育で果して實際の技術として役立ち得るや甚だ疑問とするところである。

本院はその點に深く留意し眞の研究と實際技術の練磨を主旨とし極めて優秀なる技術者を多數社會におくりつゝあるのであります。

本院卒業者は各地に開業して居りますから就職するにも非常に便利で愉快に働くことができます

御希望者は大阪市心齋橋南詰へお問合せ下さい。東京銀座西五ノ三 九州は福岡市天神町五五へ

丸善美容院 （廣告）

最新航空機講義錄

輝く空の勇士となれ！ 祖國は君の活躍を待つ！

漢口や廣東、重慶等と支那の重要地點を連日爆撃したり、唯一機で十數機の敵を撃墜に射落して悠々基地に歸る我海鷲の實力を見よ！今こそ祖國の爲め航空技術を習得し聲譽ある飛行士となれ！

本校講義錄には一般航空機の構造、操縱、修理、氣象、航空、グライダー等の全部を詳細に說明してあるから、容易に飛行士としての知識が習得出來る。

ハガキで申込めば詳しい内容見本進呈

東京・麹町・二番町五番地六 國際通信航空學校

暴風地帶

横井北道作

第三十七回 闇夜（四）

澄子はつとめて、田川の顔を見まいとした。下を俯むくやうにしてゐた。

●

その樣子がとてもしよんぼりと寂しく見えたのであらう。田川は又話しかけた。

「どう？澄子さん。お前に[illegible]惡い性質ぢやないかね」

「いゝえ、そんなこと……」

「それならいゝけれど、どうも少し顔色、惡いやうだからね」

「すみません。でも、ほんとになんともございませんの」

彼女は田川の心づかひを通して[illegible]うるさいとも感ずるやうなことはなかつた。

夜の闇がほのかにやけてゐるころ伊東溫泉に彼女等は落着くことが出來た。

●

この湯の町は澄子にとつては思ひ出の町であつた。

今年の春、初めて圭二と知り合ふ事の出來たところだ。その思ひ出の地へ田川とやつて來た事を彼女は悔いては居なかつた。この前來たときは二三流所の小さい宿であつたが、今度は土地一流のホテルだつた。

宿では下へも置かぬもてなしやうであつた。

「田川はしのびだからあまりかまつてくれるな」と云つたが宿では聞かなかつた。

田川の宿となることの出來た事を無上の光榮として歡待した。

それが、田川にとつても澄子にとつても却てわづらはしいものに感じられた。

澄子は窓に倚りかゝつて、二階から思ひ出の地の風光をながめた。

さうして居ると、過ぎ去つた日の樂しい思ひ出がまざ／＼と浮び出て來るのだつた。

「恰度あの頃だつた！」

圭二さんとよく逢つた小山は、そしてあのあたりを二人は人目を忍んで散歩したものだつた。」

あの方は口數はすくなかつたが本當によく私の氣持を察してくれたものだつた。」

二人とも、それで居てとてもつゝしみ深い性質で、此の町ではとう／＼それ以上の何ものをもなし得なかつた。勿論東京へ行つてからだつて、そんな機會はなかつたし——

彼女は思へるともなく思へてゐた。さうした事が思へると、今宵こゝで田川と夜をあかすことが恐ろしい事に思はれて來るのだつた。

彼女も十九だ。既に彼女に戀を求めてゐる男とかうしたところで夜を明かせば、どんな結果が待つてゐるかは、よく知つてゐた。

よし、彼女はさうした事の經驗はないにしても、その事が如何なることであるかは充分に察して居た。

とは云へ、全く未知の世界であつた。未知の世界へ踏入る不安はあつた。

その不安は夕闇がくれて、あたりが段々暗くなるに從つて深くなつて行つた。

しかし、不安の中に一脈云ふに云はれぬ憧がれ的なものがないでもなかつた。

その事がどんなにであるかすべては知つてゐても、ハツキリ確め得た譯ではない。經驗がないだけに、ある興味が湧いて來るのだつた。

專門 花柳病科 婦人科 產科

▼入院隨意

井坂醫院

◎見習看護婦募集

平市田町 電話五五九番

芳醇！ 美味！

たひら正宗

山崎合名會社 電話一〇番

洋酒と喫茶

麗人のサービス 氣分本位の店

タヒラ・ギンザ通り

グリル バツカス

電七〇二番

花柳病科 外科

木村外科醫院

平市南町(警察署通り角)電話三〇九番

洋品物は！

平市田町 玉屋 電六五六

提灯と國旗

◇和文 歐文 タイプライター

◇最新事務用品類

◇文房具一式

◇製圖並に測量用品

◇謄寫版並に附屬品

平市田町銀座街

東邦タイプライター代理店

東邦タイピスト養成所

藤森

電話三七〇番

振替仙臺五一〇番

（藤森事務用器商會）

毛類のお洗濯に

モノゲン

毛類は大切

今着てゐる毛類を、明年も明後年も御役に立たせるには、ぜひモノゲンで正しい洗濯が肝要！石鹸質を含んだ擬ひの洗劑使へば哀れ毛類の命儚しと思召せ

定價 一・二〇 ・五〇 ・七五

市内有名店にあり

代理店

平二、電五二

㊣中野洋品店

内臓外科 整形外科 レントゲン科

松村外科

醫學博士 松村亨

平市南町松村外科醫院部

旅舘 大幸舘

私は平市出生ですから特に郷里の皆樣方の爲に御便利を圖ります

主人 比佐棟雄

東京上野驛前(下谷郵便局横通角) 電話下谷六七七番

產科 婦人科 專門

平市南町

根本醫院

（入院隨時）

【電話三四番】

病室增築、手術室完備

產科 婦人科

醫學博士 五十嵐雄二

平市新川町 電話三六九番

食事 喫茶 酒場を兼ねた

レストラン サロン

平市銀座街 電話五九二番

營業時間

開店…午前十時

御食事は午前十一時より

閉店…午後十一時半限り

メガネ專門の店

メガネは絶對信用ある當店に先づ御相談下さい……

玉屋

平市本町二丁目